

君の夢プロジェクト

— 剣道部編 —

スポーツや文化活動に打ち込む
子どもたちの
夢をかなえるプロジェクト



剣道教士七段

畠山 拓士 さん

北海道警察剣道特別訓練員
(通称・特練員) 監督。機動隊
に所属し警察業務に従事する
傍ら、剣道の専門訓練と指導
を担い、全国レベルの精鋭部
隊の育成に尽力している。



12月13日、『君の夢プロジェクト剣道部編』が行われ、部員7人と少年団員19人が札幌市の北海道警察機動隊を訪問しました。

このプロジェクトは、スポーツや文化活動で活躍する「プロ」から指導や講話を受けることで、子どもたちが「本物」に触れることを目的としています。

今回は、昨年に引き続き、日本を代表する剣道トップ選手が所属する北海道警察剣道特別訓練員の皆さんから指導を受けました。監督の畠山拓士さん(教士七段)は、「一つでも多く身

につけて、持ち帰れるよう頑張つて」と激励し、部員たちの表情も引き締まりました。

稽古は、素振りの指導からスタート。続いて特練員の皆さんが元立ちとなり、基本打ちや指導稽古、掛け稽古、切り返しなどを実施。畠山さんからは「稽古は復習が大切。自分のものにし、さらに工夫した稽古をしてほしい」とアドバイスを送られました。

特練員の皆さんと昼食を共にし、食事面での心掛けについても学びました。午後は再び指導稽古が行わ

れ、後半は4年生以上による掛け稽古と切り返しが行われました。

稽古後、部員の堺彪真さん(9年生)は「教えていただいたことを忘れず、実践してレベルアップしたい」と感想を述べました。

また、参加した部員からは、「元立ちの大切さ」や「打った後の左足の引きつけ、間合いの詰め方」など、多くの学びと、指導いただいた皆さんへ感謝の言葉が聞かれました。

今回の貴重な経験を糧に、新年度のさらなる活躍が期待されます。



- 1 素振りの様子。道場いっばいに掛け声が響く
- 2 全国レベルの選手から学ぶ貴重な機会に気合十分
- 3 4 5 多くの特練員の協力により、個別指導も充実
- 6 一緒に参加した少年団員も、真剣な表情で稽古に臨む
- 7 気迫あふれるお手本に、思わず息を飲む部員たち
- 8 一日指導いただいた皆さんへ感謝を伝える堺さん